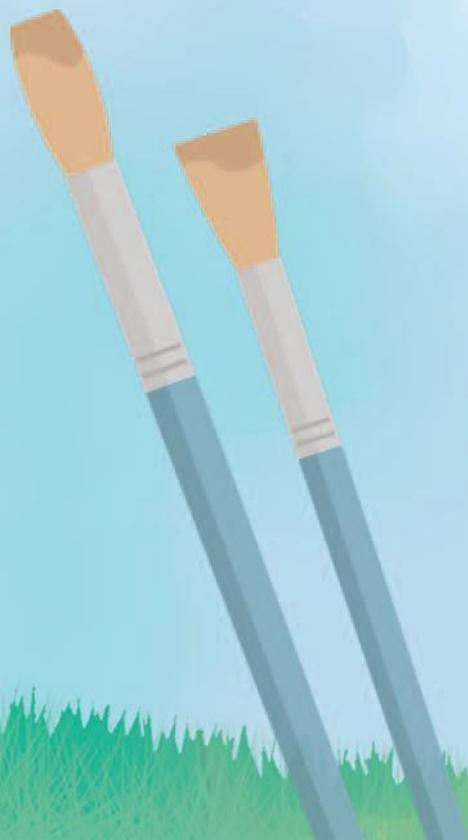




平成29年度  
島根県人権啓発  
ポスターコンクール

# 入賞・入選 作品集

島根県





江津市立郷田小学校 3年 いけだ あかり 池田 明里 さん

【個評】

小学生らしいあたたかさを感じる作品。やさしい色使い、寄り添う子の表情がほほえましく、差し伸べている手にも思いやりの気持ちが感じられる。

人権というテーマは見えにくい中で、子供の気持ちの素直な表現が「友だちっていいね」という一言で全てを言い切っている。

女の子が泣いている子に話しかけながら頭を撫でている様子から、豊かな感性が感じられてすばらしい。



出雲市立出東小学校 5年 よしだ まゆか 吉田 繭叶 さん



出雲市立北浜小学校 1年 おち あい のりあき 落合 則晃 さん



出雲市立大津小学校 6年 いづか あらた 飯塚 新太 さん



出雲市立大津小学校 6年 すとう ふうま 周藤 風磨 さん



出雲市立北浜小学校 2年 にしおおり かえで 錦織 楓 さん



出雲市立大津小学校 6年 わたなべ たいよう 渡邊 太陽 さん



西ノ島町立西ノ島小学校 4年 きしもと じょう 岸本 丈 さん



西ノ島町立西ノ島小学校 3年 たなか しゅんた 田中 竣太 さん



出雲市立出東小学校 5年 そうた ゆうあ 曾田 結愛 さん



松江市立津田小学校 5年 まつ お さくら 松尾 さくら さん



出雲市立湖陵小学校 3年 いしとび はるき 石飛 晴喜 さん



江津市立津宮小学校 4年 かわなか しゅんや 川中 駿弥 さん

最優秀賞

【個評】

圧迫された心境を狭い空間に閉じ込められた姿で表現している。余白をうまく生かし、絵と文字を配置したよく考えられた構成となっている。

膝を抱えている男の子の描写アングルが良く、中学生らしく丁寧に描き込まれている。イラストとゴシック体のコピーと白く残したスペースのレイアウトが素晴らしい。

シンプルで独創的な表現の中に人を引き付ける力が感じられる作品。

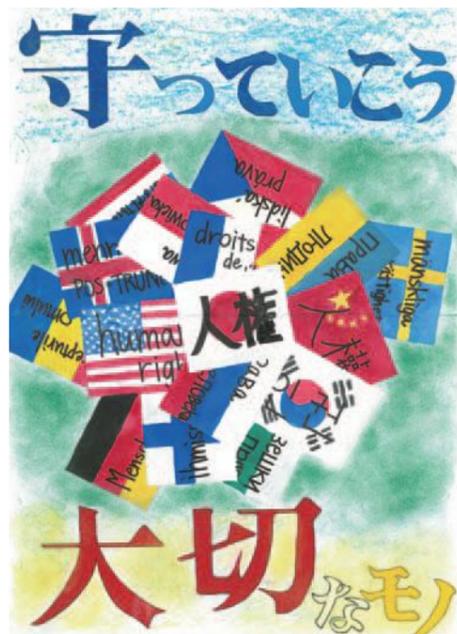


出雲市立第一中学校 3年 もりい たいら 森井 大頼さん

優秀賞



松江市立第二中学校 3年 むらまつ なつみ 村松 夏光さん



島根大学教育学部附属中学校 3年 みわ かれん 三輪 佳蓮さん

入選



飯南町立赤来中学校 2年 なかの りかこ 中野 梨花子さん



島根大学教育学部附属中学校 3年 たまき はるな 玉置 遥菜さん



島根大学教育学部附属中学校 3年 のざか いくみ 野坂 育見さん



安来市立第一中学校 2年 ながむね 長棟 レオンさん



島根大学教育学部附属中学校 3年 きと はるや 木戸 陽哉さん



松江市立第二中学校 1年 よしき みく 吉木 未来さん



島根大学教育学部附属中学校 3年 はせがわ 長谷川 ももさん



出雲市立向陽中学校 3年 すとう ちか 周藤 千佳さん



出雲市立向陽中学校 2年 はらだ さえ 原田 紗英さん



松江市立第三中学校 3年 かも すずか 加茂 鈴香さん

最優秀賞

【個評】

人は色々なところで支えられ、支えている。「人権」の文字と「支える」という言葉が見事な構図の中に表現されている。

画面上部には、ピクトグラムを効果的に使い展開する生活場面が、リズムカルに表現されており楽しい。そのひとつひとつに様々な人権課題と人が支え合う姿が散りばめられ、ストーリー性が感じられる。

そして上部スペースを支える手の表現はしっかりと描けており、グラデーションを取り入れた穏やかな色彩と色調が素晴らしい。

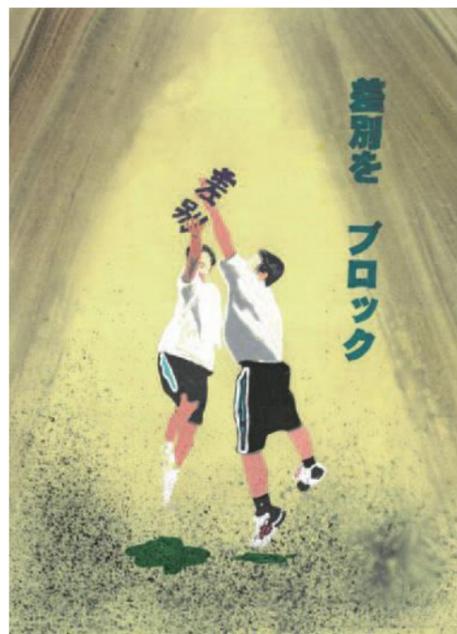


出雲北陵高等学校 2年 かわたに みゆ 川谷 美結さん

優秀賞



出雲北陵高等学校 1年 はまむら るか 濱村 琉花さん

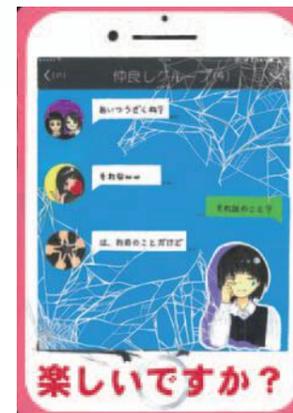


浜田養護学校高等部 3年 おおたお まゆ 大峠 摩祐さん

入選



松江東高等学校 2年 ごとう いくこ 後藤 育子さん



松江東高等学校 2年 いしはら りな 石原 里菜さん



浜田養護学校高等部 3年 やまだ ヌキさん 山田 ヌキさん



出雲北陵高等学校 2年 かみき さき さち 上木崎 紗知さん



# 平成29年度島根県人権啓発ポスターコンクール

## 全体講評

受賞された皆さん、おめでとうございます。今年も人権啓発ポスターコンクールに多くの素晴らしい作品を応募いただきありがとうございました。

人権という子どもたちにとっては難しいテーマについて、理解を深め、伝えたいメッセージをポスターとしてどのように表現していくのか、それぞれがよく考え工夫されていました。心を込めて描かれた応募作品の数々に感心しました。

小学生の部では、抽象的なテーマを自分なりの経験と結びつけて、感性豊かに表現していました。特に低学年、中学年に子供らしい発想で、のびやかさとあたたかさを感じる作品が多くありました。高学年では配色や文字のインパクトなどに工夫が見られ、言葉と絵の組み合わせがマッチしたもの、個性的な表現に優れた作品が目にとまりました。

中学生、高校生の部では、高い技術で伝えたいテーマを表現したメッセージ性の強いポスターが多くありました。

中学生になると、テーマから考えた自分のイメージを見る側に広がりをもって受け入れられるような工夫が見られます。「いじめ防止」や「国際理解」「平和」などのテーマを、自らの生活に結びつけて、色彩や構成を考えながら、丁寧に表現していました。

伝えたい想いを夢中になって描いている様子が伝わってくるような作品、人を引きつける訴求力がある作品もありました。

高校生の部は、応募数は多くないですが、より深くテーマについて追求し、ポスターカラーの使用やレタリングなどの技術面も優れ、緻密に描かれた作品が多くありました。

携帯端末などの今日的なテーマを取り上げた作品が増えていますが、様々な人権課題に関心を持って学び、自分なりの気づきや考えが表現されています。今後一層のテーマの広がりを期待したいと思います。

数ある絵画、ポスターコンクールの中で、人権啓発の趣旨を理解し、深めた作品を多数応募いただきました。

ご指導、ご支援いただいた学校と諸団体に感謝し、立派な表現に取り組んだ児童生徒を讃えます。

審査員長 島根大学名誉教授 石野 眞

### 平成29年度 人権啓発ポスターコンクール実施要領

- 【趣 旨】 人権についての理解と認識を深め、人権尊重の意識を高めることを目的に、人権啓発に関するポスターを県内の小・中・高校生から募集し、その優秀作品を広く紹介することにより県民への人権意識の高揚に役立てます。
- 【主 催】 島根県
- 【後 援】 島根県教育委員会 島根県人権啓発活動ネットワーク協議会
- 【応募資格】 県内の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校に在学中の児童及び生徒
- 【作成要領】
  - ・人権尊重の意識を高める図柄で、内容に沿った標語などを入れた未発表のものとし、
  - ・画材は自由とし、用紙の大きさはB3版または四つ切りとします。
- 【その他】
  - ・島根県は、島根県が行う展示、印刷物の発行などの人権啓発活動において、入賞作品の複製物を無償で使用する権利を有するものとします。
  - ・応募作品は、学校を通じて応募者に返却します。なお、最優秀賞・優秀賞作品については、島根県の人権啓発活動で使用し、平成30年度末までに返却します。
  - ・応募時に記入いただいた氏名等の個人情報は、審査、発表、参加賞送付にのみ使用します。

### 平成29年度 人権啓発ポスターコンクール審査及び作品展示

- 【応募状況】 応募作品数 1,092点（小学校の部 632点、中学校の部 442点、高等学校の部 18点）  
応募学校数 65校（小学校の部 31校、中学校の部 27校、高等学校の部 7校）
- 【表 彰】 最優秀賞（小学校の部1、中学校の部1、高等学校の部1）  
優 秀 賞（小学校の部2、中学校の部2、高等学校の部2）  
入 選（小学校の部10、中学校の部10、高等学校の部4）
- 【審査日・場所】 平成29年9月26日（火） 島根県職員会館 アリーナ
- 【審 査 員】（審査員長）島根大学名誉教授 石野 眞  
松江市立竹矢小学校長 永井 孝夫  
松江地方法務局人権擁護課長 丸岡 達夫  
島根県環境生活部人権同和対策課長 早弓 太  
島根県教育庁人権同和教育課指導主事 奥野与志子  
島根県人権啓発推進センター企画員 飯国 秀忠
- 【作品展示】 県ホームページでお知らせします。
- 【表彰式】 平成29年10月15日（日）安来市総合文化ホール アルテピアにて、最優秀賞受賞者の表彰を行いました。